

# 事業計画（宮城県女川町）

## 1. 海岸対策

### ① 海岸の状況

町内の地区海岸数	12地区海岸
被災した地区海岸数	10地区海岸
応急対策を実施した地区海岸数	2地区海岸
本復旧を実施する地区海岸数	10地区海岸

### ② 堤防高

平成23年9月9日に堤防高を公表※。

雄勝湾：T.P. 6.4m（対象津波：明治三陸地震）

女川湾：T.P. 6.6m（対象津波：明治三陸地震）

牡鹿半島東部：T.P. 6.9m（対象津波：明治三陸地震）

万石浦：T.P. 2.6m（対象津波：チリ地震）

※ 公表した堤防高を基本に、環境保全、周辺環境との調和、経済性、維持管理の容易性、施工性、公衆の利用等を総合的に考慮して決定する。

### ③ 復旧の予定

復旧する施設の概要計画については、平成23年12月までに策定済み。

これに基づく本復旧工事の実施については、復興計画を踏まえ、他の事業との調整等を進めながら今後決定する。

本復旧工事の完了については、まちづくりや産業活動に極力支障が生じないように、計画的に復旧を進め概ね5年での完了を目指す。

### ④ 平成23年度における成果

著しく背後の安全度が低下している区間等から優先し、

・全ての被災した被災した地区海岸において、平成23年12月までに復旧する施設の概要計画を策定※した。

※ 概要計画策定とは、災害査定のための概略設計の完了をもっていう。

### ⑤ 平成24年度の成果目標

・4地区海岸において、本復旧工事の着工※を目指す。

※ 工事着工とは、復旧工事の工事契約等をもっていう。

### ⑥ その他

・地区海岸毎の計画等については別添一覧表に記載。

・復興計画策定に際しては、最大クラスの津波（レベル2）も考慮し、必要に応じ、津波浸水シミュレーション等を活用した支援を実施。

海岸保全施設の復旧にかかる事業計画

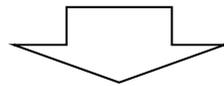
市町村	地区海岸名	堤防護岸延長(m)	主な施設	施設の高さ(T.P)		応急対策	復旧の予定						H23予算での実施内容	H24年度の実施内容等	その他の場合に詳細を記載	
				被災前現況高(m)	被災後復旧高(m)		概要計画策定	詳細計画策定	左記の実施状況	工事着工	左記の実施状況	工事完了				左記の実施状況
女川町	指ヶ浜漁港	73	護岸	3.13	6.40	—	H23.12	H26.3	策定予定	H26.4	着工予定	H27.3	完了予定	概略設計	背後の復興計画の策定・調整等	
女川町	御前漁港	654	堤防、護岸、防潮堤	3.43	6.40	完了	H23.12	H26.3	策定予定	H26.4	着工予定	H28.3	完了予定	応急復旧概略設計	背後の復興計画の策定・調整等	
女川町	竹浦漁港	305	胸壁	3.43	6.60	—	H23.12	H26.3	策定予定	H26.4	着工予定	H28.3	完了予定	概略設計	背後の復興計画の策定・調整等	
女川町	浦宿	286	護岸	2.60	2.60	—	H23.11	H24.8	策定中	H24.10	着工予定	H26.3	完了予定	概略設計、詳細設計	本工事	
女川町	針浜	909	護岸	2.60	2.60	—	H23.11	H24.8	策定中	H24.10	着工予定	H26.3	完了予定	概略設計、詳細設計	本工事	
女川町	猪落	222	護岸	2.60	2.60	—	H23.11	H24.8	策定中	H24.10	着工予定	H26.3	完了予定	概略設計、詳細設計	本工事	
女川町	女川港崎山	427	護岸、防波堤	4.43	4.43	—	H23.11	H24d第1四半期以降	策定中	H24d第2四半期以降	着工予定	H28.3	完了予定	詳細設計	本工事	
女川町	女川港高白	238	胸壁、その他(水門、陸閘、樋門)	4.03	6.60	—	H23.11	H24d第1四半期以降	策定中	H24d第2四半期以降	着工予定	H28.3	完了予定	詳細設計	背後の復興計画の策定・調整等	
女川町	女川港横浦	219	護岸、胸壁、その他(水門、陸閘)	4.03	6.60	完了	H23.11	H24d第1四半期以降	策定中	H24d第2四半期以降	着工予定	H28.3	完了予定	応急復旧詳細設計	背後の復興計画の策定・調整等	
女川町	女川港大石原	167	胸壁、その他(水門、陸閘)	4.03	6.60	—	H23.11	H24d第1四半期以降	策定中	H24d第2四半期以降	着工予定	H28.3	完了予定	詳細設計	背後の復興計画の策定・調整等	

# 宮城県沿岸の地域海岸分割図

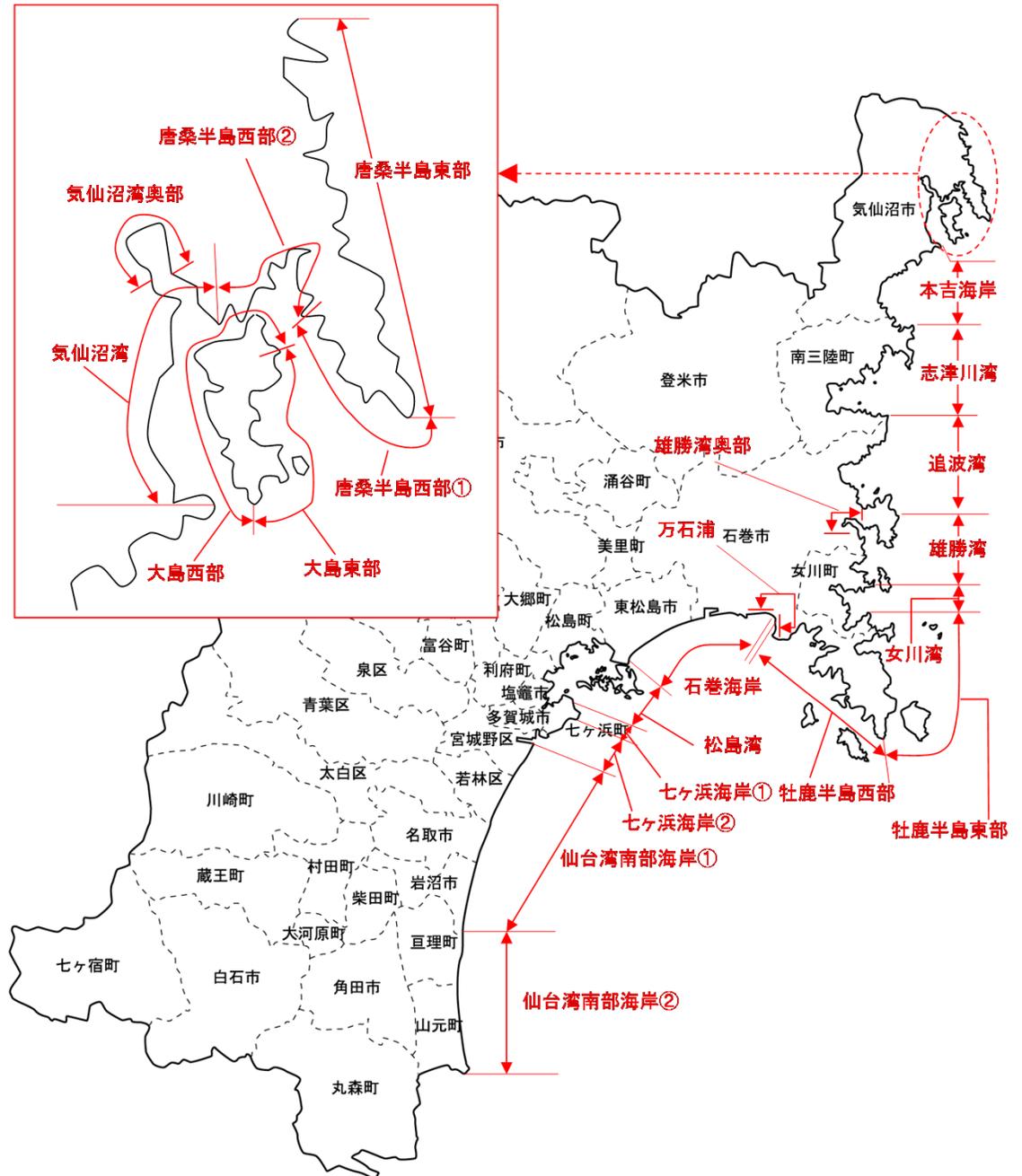
## 《宮城県における地域海岸の考え方》

以下の点を考慮し、同一の津波外力を設定しようと判断される一連の区間を地域海岸として設定

- 1) 湾毎の区分を基本とし、半島や離島の遮蔽効果も考慮して区分
- 2) 湾奥部における増幅等が顕著な場合は、外湾と内湾を区分。
- 3) 砂浜海岸は、大河川の土砂供給や沿岸漂砂の特性により区分。



宮城県沿岸を22の地域海岸に分割



## 2. 河川対策

### 【県・市町村管理区間】

- ① 2級水系女川水系など<sup>※1</sup>の県管理区間では、全箇所<sup>※2</sup>の災害査定を完了し、2箇所<sup>※2</sup>で災害復旧事業を予定。

なお、女川町の町管理区間では、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法の該当事業はない。

- ② 平成24年度に、全2箇所<sup>※2</sup>で本復旧に着手予定。

また、平成24年度内に1箇所<sup>※2</sup>で本復旧完了予定。

本復旧は、海岸堤防の整備計画及び町が策定する復興計画等と整合を図りながら逐次整備し、概ね5年を目途に全箇所<sup>※2</sup>完了させることを目標とする。（まちづくりと一体となって実施する区間については、まちづくりと堤防整備の調整を図りながら実施。）

併せて、堤防において液状化のおそれがある箇所については対策を実施。

- ③ 平成23年度における成果

- ・全箇所（2箇所）で災害査定を完了

- ④ 平成24年度の成果目標

- ・全2箇所<sup>※2</sup>で本復旧に着手予定。
- ・本復旧の完了予定は、以下の通り  
平成24年度末まで : 1箇所
- ・全箇所（2箇所）で本復旧に着手予定。
- ・1箇所<sup>※2</sup>の本復旧を完了予定。

※1 位置図を参照

※2 一連区間の取扱い方等により、箇所数は変動しうる



### 3. 漁港

① 被害状況

漁港数：13漁港

被災漁港数：13漁港

② スケジュール

女川町内の各被災13漁港において、平成23年度末時点で、潮位に関わらず、岸壁の使用が可能となっている。

今後、漁港間での機能集約と役割分担の取組みを図りつつ、地域一体として必要な機能を早期に確保すべく、平成27年度中に漁港施設の復旧の完了を目指す。

#### 4. 復興住宅（災害公営住宅）

- ① 地区名：全域
- ② 平成 23 年度から用地の選定や整備手法等、災害公営住宅の整備に向けた準備を進めており、東日本大震災復興交付金を活用し、用地の取得造成や調査設計等に順次着手していく予定。
- ③ 平成 24 年度の成果目標  
用地取得、設計、工事を順次行う。

## 5. 復興まちづくり

### (1) 防災集団移転促進事業

① 集団移転促進事業計画の策定済地区：なし

集団移転促進事業計画の策定準備中地区：竹浦地区外4地区

② 東日本大震災復興交付金を活用して、平成23年度から集団移転促進事業計画案作成に向けた調査を開始。集団移転促進事業計画の策定、住民の合意形成等の事業化に向けた準備が整った地区において事業に着手。

③ 平成24年度の成果目標

集団移転促進事業計画の案の作成及び移転先の測量・設計等を行う。

(注) 集団移転促進事業計画の策定済地区とは、集団移転促進事業計画について国土交通大臣の同意を得た地区、又は復興整備計画協議会で復興整備計画に記載しようとする集団移転促進事業に関する事項について、国土交通大臣の同意を得た地区をいう。

### (2) 漁業集落防災機能強化事業

ア) 箇所名： 指ヶ浜地区、御前浜地区、尾浦地区、竹浦地区、桐ヶ崎地区、高白浜地区、横浦地区、大石原地区、野々浜地区、飯小浜地区、塚浜地区、小屋取地区、出島地区、寺間地区、江島地区

イ) 離半島部に点在する集落に点在する漁業集落において漁業関連施設、建築物が全壊・流出した他、大規模名地盤沈下が発生。

ウ) 高台移転等により安全な居住地を確保し、漁港の再整備と水産業の再生を促進するため区域の嵩上げを行い、基盤施設の整備を行う。24年度は測量設計を行い、早期の事業着手を目指す。

### (3) 土地区画整理

① 地区名： 鷺神浜・女川浜・清水・宮ヶ崎・石浜・小乗浜地区

② 東日本大震災復興交付金を活用して、平成23年度から事業計画案作成に向けた調査等を開始。事業計画の決定、住民の合意形成等の事業化に向けた準備が整った地区において事業に着手。

③ 平成24年度の成果目標

都市再生区画整理事業の事業計画案の作成、事業認可後の円滑な事業実施を支援

するための調査測量設計を実施する。

都市再生区画整理区画整理事業（被災市街地復興土地区画整理事業）を実施するため土地区画整理事業予定地区の公共施設充当用地の取得及び防災空地整備事業を目的とし一部地区について、用地を取得する。

#### （４）学校施設等

##### ① 幼稚園・小中高等学校等

##### （い）公立学校

##### ＜女川町立学校＞

東日本大震災により被災した町立小中学校のうち、公立学校施設の災害復旧に係る国庫負担に申請予定の５校について、以下のとおり早期の復旧を目指す。

- 比較的軽微な被害に留まる３校については、平成 24 年度内の事業着手、復旧完了を目標とする。
- 離島の２校については、島の復旧復興、島民の居住状況等を勘案し、今後、復旧方法等について検討する。

##### ＜県立学校＞

女川町に所在する県立学校のうち、東日本大震災により被災し、公立学校施設の災害復旧に係る国庫補助に申請した１校については、比較的軽微な被害に留まるので、平成 23 年度内の事業着手、平成 24 年度内の復旧完了を目標とする。

##### ② 公立社会教育施設

##### ＜女川町立社会教育施設＞

東日本大震災により被災した下記社会教育施設等のうち、①については、避難所にもなったことから平成 23 年度中に事業に着手、完成済み。

②・③・④については、全壊。⑤については、津波の被害はなかったものの、地震の被害が大きく、取り壊しの予定である。

⑥については、今後の復興計画策定により施設の変更又は廃止が見込まれる。

- ① 女川町勤労者青少年センター
- ② 女川町公民館
- ③ 女川町公民館御前分館
- ④ 女川町生涯教育センター
- ⑤ 女川町江島自然活動センター
- ⑥ 総合体育館以外の体育施設

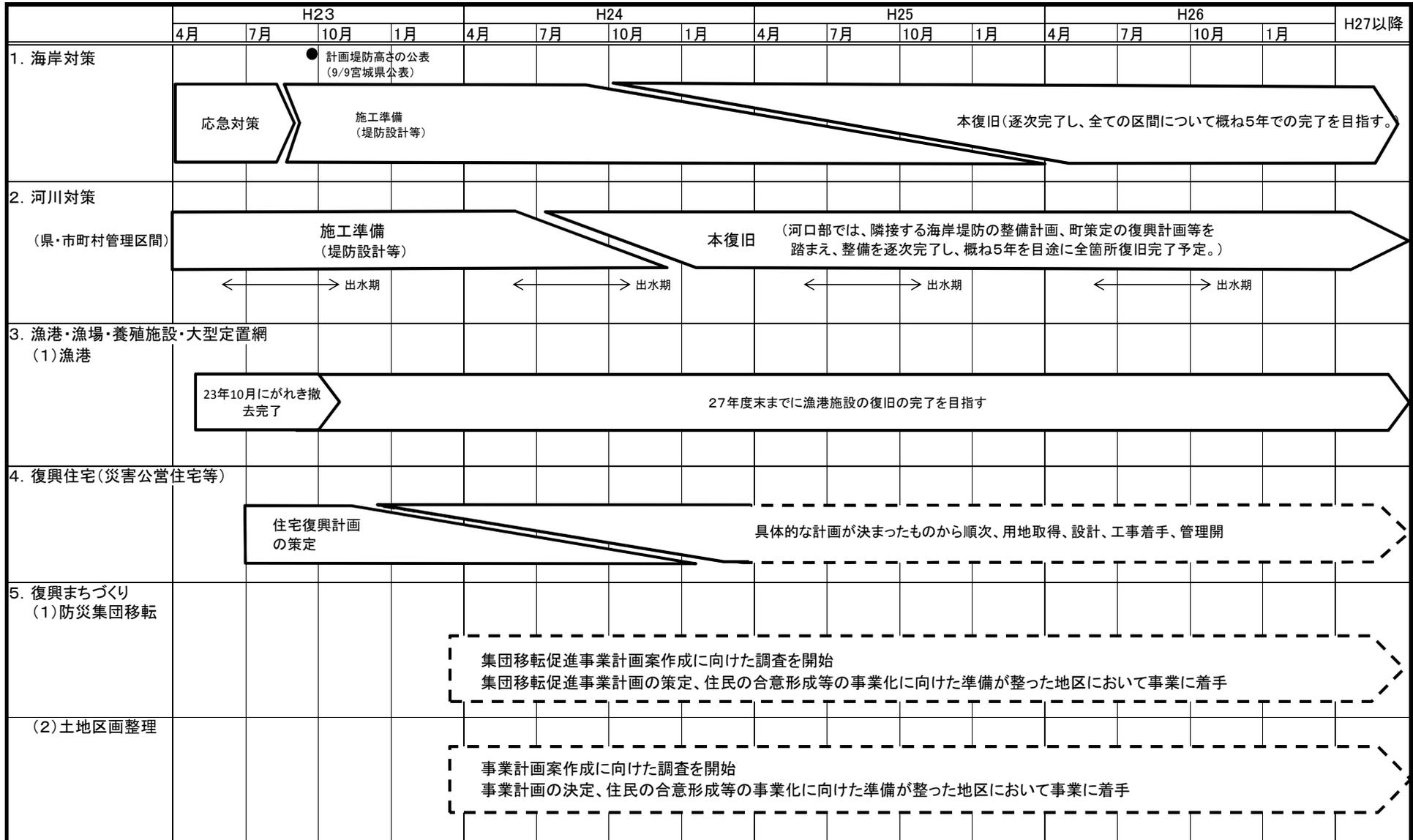
## 6. 土砂災害対策

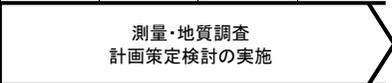
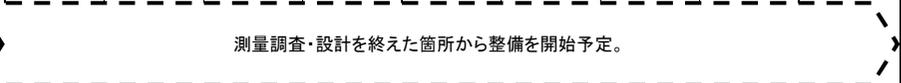
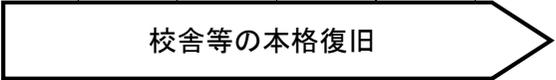
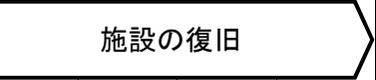
- ① 平成23年8月末までに、町内約180箇所の土砂災害危険箇所の点検を実施し、約20箇所で斜面の変状等を確認。降雨等により二次的な被害の恐れがある箇所等、必要に応じ土のう積みや観測等の応急対策を実施。（降雨の状況等を考慮し、随時再調査等を実施。）
- ② 最大震度6弱を観測した女川町では、地震により地盤が脆弱になっている可能性が高く、降雨による土砂災害の危険性が通常よりも高いと考えられるため、県と気象台が連携し、平成23年3月より土砂災害警戒情報の発表基準を引き下げて運用している。今後の降雨と土砂災害発生状況を考慮し、発表基準の適切な見直しを実施。

## 7. 災害廃棄物の処理

- ① 東日本大震災においては、地震による大規模な津波及び地震による建物の倒壊等により膨大な量（444千トン）の災害廃棄物が発生。
- ② 現在住民が生活している場所の近くの災害廃棄物については、平成23年6月までに仮置場へ概ね搬入した。その他の災害廃棄物の仮置場への移動は平成24年3月までに完了した。なお、平成24年4月2日現在、全ての災害廃棄物の65%の仮置場への移動を完了している。
- ③ 損壊家屋等の解体により生じる災害廃棄物の仮置場への移動については、平成24年7月までを目途に完了させる。
- ④ また、中間処理・最終処分については、腐敗性等がある廃棄物を速やかに処分しつつ、平成25年3月末までを目途として処分を行う。なお、木くず、コンクリートくずほか再生利用を予定しているものについては、劣化、腐敗等が生じない期間で再生利用の需要を踏まえつつ適切な期間を設定する。

# 工程表(宮城県女川町)



	H23				H24				H25				H26				H27以降
	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	
(3)漁業集落防災機能強化事業																	
(4)学校施設等																	
幼稚園・小中高等学校等																	
<町立学校>																	
比較的軽微な被害に留まる学校の復旧																	
<県立学校>																	
比較的軽微な被害に留まる学校の復旧																	
公立社会教育施設(公立社会体育施設・公立文化施設を含む)																	
<町立社会教育施設>(公立社会体育施設を含む)																	
比較的軽微な被害に留まる社会教育施設の復旧																	
甚大な被害を受けた社会教育施設施設の復旧																	
6. 土砂災害対策																	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">土砂災害危険箇所 の点検等</div>																
	(※)土砂災害警戒情報の発表基準を引き下げて運用																

